

大谷大学真宗総合研究所 特定研究

揖斐川町春日地区における

「地域と寺院」調査研究報告会のご案内

大谷大学真宗総合研究所の研究班「新しい時代における寺院のあり方研究」は、人口減少や地域構成員相互における関係性の希薄化などの深刻な問題を抱える現代の地域社会における寺院の果たしうる役割について調査研究することを目的に2017年4月に立ちあげられました。

当研究班は2017年度より3年間、揖斐川町春日地区において寺院住職や門徒の方々のご協力をいただき、聞き取り調査を重ねてきました。この度、3年間の調査研究のまとめとして、以下の3つの観点から研究内容の報告をさせていただきたいと思っております。

多くの方々がもっている問題を共有し、その対処の糸口が示される報告会になれば幸いです。多くの方々のご参加をお待ちしております。

〔開催次第〕

日 時 / 2020年2月27日(木) 15時～17時

場 所 / 真宗大谷派大垣教務所・講堂

日 程 / 15時 開 会

15時10分～ 報 告 (各25分)

①山下憲昭 (大谷大学教授：社会福祉学)

春日地区における人口動態と地域社会の変化に関する報告

②本林靖久 (大谷大学非常勤講師：宗教人類学、民俗学)

春日地区における葬送墓制の変化に関する報告

③木越 康 (大谷大学教授：真宗学)

本研究から見えてきたことと今後の研究の方向性に関する報告

16時25分～ 質疑応答 (約30分)

17時 閉 会

事前申し込みは不要です。どなたでも、ご参加いただけます。

主 催 / 大谷大学真宗総合研究所 特定研究「新しい時代における寺院のあり方研究」班
研究代表・木越康

問合せ先 / 住所:〒603-8143 京都市北区小山上総町 大谷大学 真宗総合研究所
電話: 075-411-8498